



勝林寺寺報 如來所以興出世 唯說本願海

毎月寺報の原稿を書くのはたいてい土曜日の朝に

田曜日の時間を使うことが多い。土曜日の朝には前にも一度お話しした「チコちゃんに叱られる」というNHKの番組を必ず見てから動き出します。この番組は「五才のチコちゃんが聞かれる素朴な疑問にあなたは答えられますか?」知らないでいると、チコちゃんに「ボー」と生きてんじやねーよー」と叱られますよ」というものです。毎週毎週いろいろ面白い話がありますが、必ず今日は、「なんでチコちゃんは五歳児なのか?」といふ

といふに朝から引っかかるつります。

「わづ自分の子供たちも大きくなりてしまい、小さかつた昔を懐かしむことが多くなりました。娘の希望が小さかつた頃のビデオを見ていると、「ちょっとみせてーちょっとみせてーー」と言つて、かわいい姿をそつと撮らうとしている私の方に近づき、まとわりつき、ビデオカメラをのぞき込み、娘の姿が撮れなくて困っている私の様子が残っています。とにかくこのころは何にでも興味津々で、お父さんのすることに、なんで?なんで?と、疑問を投げかけ、ずいぶん大変だった(楽しかった)のを想い出します。興味や好奇心は素朴な疑問となつて現れます。五歳児あたりは素朴な疑問の最盛期で「なんで人は右で車は左なの?」「なんで鶏は卵を産むの?」「なんで法事にはお経を読むの?...」

と、もう大人が考えもしなくなつた当たり前の

事が可愛かつたころの楽しいやりとりを思い出させてくれて、面白く毎週見てしまうのかもしれません。

田々の生活を忙しく廻りして、くうえで、「なんで?」と疑問をもって生きる「」は、生活の邪魔になります。なるべくそんなことは考えず、淡々と生きていけるのが大人というもののようです。しかし、どうかで私たちもいつでも根本的な「なんで?」という問いをもつて生きています。「なんで私は生きているのだろう?」「なんで私は生まれてきたのだろう?」この世の人生の終わりがいよいよ近づく中で、自分自身が何のために生まれ、何のために生きてきたのか、それなりに気になります。それは誰だって同じことで、お釈迦様は何のために生まれてきて、何のために仏教を説いたのか?「なんで?」と親鸞聖人はチコちゃんのように素朴に疑問をいたされました。そこに出てきた答えが、「唯説
「お釈迦様がインドの地に生まれ出でられたのは、ただお念仏をこの私に称えさせるためだつた」という答えでした。そうであればこの私は「なんで生まれてきたのか?」と問われれば、「お念仏を称えるために」という答えになりそうですね。

疑問を疑問のまま終わらせ、しっかりと答

事に疑問を持ち、知りたいと欲求してきまわ。その「」は親も忙しく、一緒に疑問に付き合つて考える」ともなく、「そんなの常識やん」とやり過ぎしているうちに、子供たちは学校の教科書で知識を増やし、スマホで世界の知識を検索し、もう親には質問してくれず、素朴な疑問に出余りともなくなりてしましました。NHKの番組「チコちゃんに叱られる」はそんな子供たちが可愛かつたころの楽しいやりとりを思い出させてくれて、面白く毎週見てしまうのかもしさせてくれて、面白く毎週見てしまうのかもしれません。

二回目

報告

降誕会をお勧めしました

五月二十一日(土曜日)、住職・若院・坊守の三人で、宗祖親鸞聖人のお誕生日をお祝いする「降誕会」をお勧めしました。

八日(火)衣川忠良宅 一七回朗
一〇日(木)NPO法人ダーナ 総会
一一日(土)玉井輝彦宅 一三回朗

本堂には来ていただきました。坊守と若院は、法話は住職が担当しました。坊守と若院は、それぞれしていだいた朱と青の色衣を纏い、五条袈裟をつけて出勤しました。今回、門徒の皆さんと声を合わせているつもりで、

精一杯正信偈のお勤めをしました。住職は、ご寄贈いただいた親鸞聖人の「熊皮の」前で法話をいたしました。(当時の様子は、「勝林寺.net」のオンライン法要でみていただけます)いつもなら、そのあと門徒の皆さんとともに「お祝いする会」をするのですが、それもかなわず、三人でお寿司とケーキでお祝いしました。

《 中止いたします 》

一七日(木) 兵庫教区 常備会
一六日(土) 数森成美宅 一周朗

みのりを聞く会

(敬称略)

納骨研修旅行は中止させていただきます

お知らせ
緊急事態宣言、再々発出に伴い、

六月に予定しておりました「納骨研修旅行」は中止させていただきます。「今年こそは行こう」と樂しまれて、今年こそは行こうと楽しみにしていてくださったのに本当に残念になりました。コロナが恨めしくあります。ワクチン接種も進むことですから、来年こそ行きましょう。

昨年同様、納骨されるご家族の皆様には、状況を見て、後日納骨のみの案内をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

八月 勝林寺 予定

五月二十一日(土曜日)、住職・若院・坊守の三人で、宗祖親鸞聖人のお誕生日をお祝いする「降誕会」をお勧めしました。

八日(火)衣川忠良宅 一七回朗
一〇日(木)NPO法人ダーナ 総会
一一日(土)玉井輝彦宅 一三回朗

本堂には来ていただきました。坊守と若院は、法話は住職が担当しました。坊守と若院は、それぞれしていだいた朱と青の色衣を纏い、五条袈裟をつけて出勤しました。今回、門徒の皆さんと声を合わせているつもりで、

精一杯正信偈のお勤めをしました。住職は、ご寄贈いただいた親鸞聖人の「熊皮の」前で法話をいたしました。(当時の様子は、「勝林寺.net」のオンライン法要でみていただけます)いつもなら、そのあと門徒の皆さんとともに「お祝いする会」をするのですが、それもかなわず、三人でお寿司とケーキでお祝いしました。

《 中止いたします 》

一七日(木) 兵庫教区 常備会
一六日(土) 数森成美宅 一周朗

みのりを聞く会

(敬称略)

納骨研修旅行は中止させていただきます

お知らせ
緊急事態宣言、再々発出に伴い、

六月に予定しておりました「納骨研修旅行」は中止させていただきます。「今年こそは行こう」と樂しまれて、今年こそは行こうと楽しみにしていてくださったのに本当に残念になりました。コロナが恨めしくあります。ワクチン接種も進むことですから、来年こそ行きましょう。

昨年同様、納骨されるご家族の皆様には、状況を見て、後日納骨のみの案内をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

八月 勝林寺 予定

五月二十一日(土曜日)、住職・若院・坊守の三人で、宗祖親鸞聖人のお誕生日をお祝いする「降誕会」をお勧めしました。

八日(火)衣川忠良宅 一七回朗
一〇日(木)NPO法人ダーナ 総会
一一日(土)玉井輝彦宅 一三回朗

本堂には来ていただきました。坊守と若院は、法話は住職が担当しました。坊守と若院は、それぞれしていだいた朱と青の色衣を纏い、五条袈裟をつけて出勤しました。今回、門徒の皆さんと声を合わせているつもりで、

精一杯正信偈のお勤めをしました。住職は、ご寄贈いただいた親鸞聖人の「熊皮の」前で法話をいたしました。(当時の様子は、「勝林寺.net」のオンライン法要でみていただけます)いつもなら、そのあと門徒の皆さんとともに「お祝いする会」をするのですが、それもかなわず、三人でお寿司とケーキでお祝いしました。

《 中止いたします 》

一七日(木) 兵庫教区 常備会
一六日(土) 数森成美宅 一周朗

みのりを聞く会

(敬称略)

納骨研修旅行は中止させていただきます

お知らせ
緊急事態宣言、再々発出に伴い、

六月に予定しておりました「納骨研修旅行」は中止させていただきます。「今年こそは行こう」と樂しまれて、今年こそは行こうと楽しみにしていてくださったのに本当に残念になりました。コロナが恨めしくあります。ワクチン接種も進むことですから、来年こそ行きましょう。

昨年同様、納骨されるご家族の皆様には、状況を見て、後日納骨のみの案内をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

八月 勝林寺 予定

五月二十一日(土曜日)、住職・若院・坊守の三人で、宗祖親鸞聖人のお誕生日をお祝いする「降誕会」をお勧めしました。

八日(火)衣川忠良宅 一七回朗
一〇日(木)NPO法人ダーナ 総会
一一日(土)玉井輝彦宅 一三回朗

本堂には来ていただきました。坊守と若院は、法話は住職が担当しました。坊守と若院は、それぞれしていだいた朱と青の色衣を纏い、五条袈裟をつけて出勤しました。今回、門徒の皆さんと声を合わせているつもりで、

精一杯正信偈のお勤めをしました。住職は、ご寄贈いただいた親鸞聖人の「熊皮の」前で法話をいたしました。(当時の様子は、「勝林寺.net」のオンライン法要でみていただけます)いつもなら、そのあと門徒の皆さんとともに「お祝いする会」をするのですが、それもかなわず、三人でお寿司とケーキでお祝いしました。

《 中止いたします 》

一七日(木) 兵庫教区 常備会
一六日(土) 数森成美宅 一周朗

みのりを聞く会

(敬称略)

納骨研修旅行は中止させていただきます

お知らせ
緊急事態宣言、再々発出に伴い、

六月に予定しておりました「納骨研修旅行」は中止させていただきます。「今年こそは行こう」と樂しまれて、今年こそは行こうと楽しみにしていてくださったのに本当に残念になりました。コロナが恨めしくあります。ワクチン接種も進むことですから、来年こそ行きましょう。

昨年同様、納骨されるご家族の皆様には、状況を見て、後日納骨のみの案内をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

八月 勝林寺 予定

五月二十一日(土曜日)、住職・若院・坊守の三人で、宗祖親鸞聖人のお誕生日をお祝いする「降誕会」をお勧めしました。

八日(火)衣川忠良宅 一七回朗
一〇日(木)NPO法人ダーナ 総会
一一日(土)玉井輝彦宅 一三回朗

本堂には来ていただきました。坊守と若院は、法話は住職が担当しました。坊守と若院は、それぞれしていだいた朱と青の色衣を纏い、五条袈裟をつけて出勤しました。今回、門徒の皆さんと声を合わせているつもりで、

精一杯正信偈のお勤めをしました。住職は、ご寄贈いただいた親鸞聖人の「熊皮の」前で法話をいたしました。(当時の様子は、「勝林寺.net」のオンライン法要でみていただけます)いつもなら、そのあと門徒の皆さんとともに「お祝いする会」をするのですが、それもかなわず、三人でお寿司とケーキでお祝いしました。

《 中止いたします 》

一七日(木) 兵庫教区 常備会
一六日(土) 数森成美宅 一周朗

みのりを聞く会

(敬称略)

納骨研修旅行は中止させていただきます

お知らせ
緊急事態宣言、再々発出に伴い、

六月に予定しておりました「納骨研修旅行」は中止させていただきます。「今年こそは行こう」と樂しまれて、今年こそは行こうと楽しみにしていてくださったのに本当に残念になりました。コロナが恨めしくあります。ワクチン接種も進むことですから、来年こそ行きましょう。

昨年同様、納骨されるご家族の皆様には、状況を見て、後日納骨のみの案内をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

八月 勝林寺 予定

五月二十一日(土曜日)、住職・若院・坊守の三人で、宗祖親鸞聖人のお誕生日をお祝いする「降誕会」をお勧めしました。

八日(火)衣川忠良宅 一七回朗
一〇日(木)NPO法人ダーナ 総会
一一日(土)玉井輝彦宅 一三回朗

本堂には来ていただきました。坊守と若院は、法話は住職が担当しました。坊守と若院は、それぞれしていだいた朱と青の色衣を纏い、五条袈裟をつけて出勤しました。今回、門徒の皆さんと声を合わせているつもりで、

精一杯正信偈のお勤めをしました。住職は、ご寄贈いただいた親鸞聖人の「熊皮の」前で法話をいたしました。(当時の様子は、「勝林寺.net」のオンライン法要でみていただけます)いつもなら、そのあと門徒の皆さんとともに「お祝いする会」をするのですが、それもかなわず、三人でお寿司とケーキでお祝いしました。

《 中止いたします 》

一七日(木) 兵庫教区 常備会
一六日(土) 数森成美宅 一周朗

みのりを聞く会

(敬称略)

納骨研修旅行は中止させていただきます

お知らせ
緊急事態宣言、再々発出に伴い、

六月に予定しておりました「納骨研修旅行」は中止させていただきます。「今年こそは行こう」と樂しまれて、今年こそは行こうと楽しみにしていてくださったのに本当に残念になりました。コロナが恨めしくあります。ワクチン接種も進むことですから、来年こそ行きましょう。

昨年同様、納骨されるご家族の皆様には、状況を見て、後日納骨のみの案内をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

八月 勝林寺 予定

五月二十一日(土曜日)、住職・若院・坊守の三人で、宗祖親鸞聖人のお誕生日をお祝いする「降誕会」をお勧めしました。

八日(火)衣川忠良宅 一七回朗
一〇日(木)NPO法人ダーナ 総会
一一日(土)玉井輝彦宅 一三回朗

本堂には来ていただきました。坊守と若院は、法話は住職が担当しました。坊守と若院は、それぞれしていだいた朱と青の色衣を纏い、五条袈裟をつけて出勤しました。今回、門徒の皆さんと声を合わせているつもりで、

精一杯正信偈のお勤めをしました。住職は、ご寄贈いただいた親鸞聖人の「熊皮の」前で法話をいたしました。(当時の様子は、「勝林寺.net」のオンライン法要でみていただけます)いつもなら、そのあと門徒の皆さんとともに「お祝いする会」をするのですが、それもかなわず、三人でお寿司とケーキでお祝いしました。

《 中止いたします 》

一七日(木) 兵庫教区 常備会
一六日(土) 数森成美宅 一周朗

みのりを聞く会

(敬称略)

納骨研修旅行は中止させていただきます

お知らせ
緊急事態宣言、再々発出に伴い、

六月に予定しておりました「納骨研修旅行」は中止させていただきます。「今年こそは行こう」と樂しまれて、今年こそは行こうと楽しみにしていてくださったのに本当に残念になりました。コロナが恨めしくあります。ワクチン接種も進むことですから、来年こそ行きましょう。

昨年同様、納骨されるご家族の皆様には、状況を見て、後日納骨のみの案内をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

八月 勝林寺 予定

五月二十一日(土曜日)、住職・若院・坊守の三人で、宗祖親鸞聖人のお誕生日をお祝いする「降誕会」をお勧めしました。

八日(火)衣川忠良宅 一七回朗
一〇日(木)NPO法人ダーナ 総会
一一日(土)玉井輝彦宅 一三回朗

本堂には来ていただきました。坊守と若院は、法話は住職が担当しました。坊守と若院は、それぞれしていだいた朱と青の色衣を纏い、五条袈裟をつけて出勤しました。今回、門徒の皆さんと声を合わせているつもりで、

精一杯正信偈のお勤めをしました。住職は、ご寄贈いただいた親鸞聖人の「熊皮の」前で法話をいたしました。(当時の様子は、「勝林寺.net」のオンライン法要でみていただけます)いつもなら、そのあと門徒の皆さんとともに「お祝いする会」をするのですが、それもかなわず、三人でお寿司とケーキでお祝いしました。

《 中止いたします 》

一七日(木) 兵庫教区 常備会
一六日(土) 数森成美宅 一周朗

みのりを聞く会

(敬称略)

納骨研修旅行は中止させていただきます

お知らせ
緊急事態宣言、再々発出に伴い、

六月に予定しておりました「納骨研修旅行」は中止させていただきます。「今年こそは行こう」と樂しまれて、今年こそは行こうと楽しみにしていてくださったのに本当に残念になりました。コロナが恨めしくあります。ワクチン接種も進むことですから、来年こそ行きましょう。

昨年同様、納骨されるご家族の皆様には、状況を見て、後日納骨のみの案内をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

八月 勝林寺 予定

五月二十一日(土曜日)、住職・若院・坊守の三人で、宗祖親鸞聖人のお誕生日をお祝いする「降誕会」をお勧めしました。

八日(火)衣川忠良宅 一七回朗
一〇日(木)NPO法人ダーナ 総会
一一日(土)玉井輝彦宅 一三回朗

本堂には来ていただきました。坊守と若院は、法話は住職が担当しました。坊守と若院は、それぞれしていだいた朱と青の色衣を纏い、五条袈裟をつけて出勤しました。今回、門徒の皆さんと声を合わせているつもりで、

といふで、おたがいに子どものころから、今日の日までをふりかえつてみると、いろいろな縁の中で、実際に多くの人々と出会い、そな人々と深く浅くかかわりながら、それぞれの人生を歩んできたことを思うでしょう。そしてそこには今にして思えば、ほんとうにありがたかったといふるような出会いもありました。しかし、またその反対に、まずかつたと悔やまれるような出会いもありました。私たちはお互いに、それらのさまざまな出会いを通して、人それぞれの人生模様をえがきながら、ここまで生きてきたわけあります。

しかしながら、そういうさまざまな出会いの中で、私たちは自分の人生にとって、ほんとうによかったと思えるような出会いを、どれほどもつてのことでしょう。ある人が、人生における出会いとは、第一の誕生であると言つておりますが、まことに本当の意味での出会いをもちえた人は、そのことをとおして大きく成長することができるのです。ことに自分の生きる道について教えられ、自ら成長することができることです。ここに自分の生きる道について教えた人は、ほんとうにしあわせであると思われます。親鸞聖人はこののような出会いをとおして、自分自身の道を発見し、それをきりひらいてゆかれたかたでありました。親鸞聖人は伝えるところによると、九歳にして仏門に入り、比叡山に上つて天台宗の教義を学び、その行道を修められました。比叡山における学習と修道の内容がどんなものであったのか、くわしいことはわかりませんが、それがとてもきびしいものであつただるうことは十分に想像されます。しかしながら、親鸞聖人はまたこの比叡山における生活において、かたちばかりの学習と修道はしだいに積み

信心というのは

凡夫が仏さまと同じ命を
共有するということ

大峯 頤

今月のことばは、僧侶で哲学者・俳人の大峯顕先生の著書『生命還流』浄土和讃を読む・下』(本願寺出版社)に出てきます。

親鸞聖人の『淨土和讃』にある、「信心よろ」と考へて、日ごろから尊敬しておられました。そこで親鸞聖人は、この太子にゆかりある六角堂にこもつて、自分の悩みを訴え、新しい道を教えてくださいました。親鸞をはじめてから九十五日目の朝方、ついに、聖徳太子の言葉を得ることができます。そこで親鸞聖人はそのままとおなじがつて、参籠をはじめてから九十五日目の朝方、ついに、聖徳太子の言葉を得ることができます。親鸞聖人が、百田の参籠の中で太子の言葉を得た。そして親鸞聖人はそのさしつけたがつて、その朝すぐに、京都東山の吉水にいられた法然

がたちます。お泊りのお出かけの日以外は、すべてこのメニューです。(みそ汁の具は、日替わり)特に、この一年あまり(四百日くらい)は、お泊りのお出かけはしていませんし、このメニューが定着してから、かれこれ四年过去了。なぜならば、毎日同じメニューだから(笑)と考へて、日ごろから尊敬しておられました。親鸞聖人は聖徳太子を日本に出られたお釈迦様だったので救世観音さまがまつられておりました。親鸞聖人は聖徳太子を日本に出されたお釈迦様だと考へて、日ごろから尊敬しておられました。そこで親鸞聖人は、この太子にゆかりある六角堂にこもつて、自分の悩みを訴え、新しい道を教えてくださいました。親鸞をはじめてから九十五日目の朝方、ついに、聖徳太子の言葉を得ることができます。親鸞聖人が、百田の参籠の中で太子の言葉を得た。そして親鸞聖人はそのままとおなじがつて、その朝すぐに、京都東山の吉水にいられた法然

がたつたことは、今ではふしげに思える」と教えられ、自ら成長することができるようになりますが、まことに本当の意味での出会いをとおして大きく成長することができるのです。ことに自分の生きる道について教えた人は、そのことをとおして大きく成長することができます。ここに自分の生きる道について教えた人は、ほんとうにしあわせであると思われます。親鸞聖人はこののような出会いをとおして、自分自身の道を発見し、それをきりひらいてゆかれたかたでありました。親鸞聖人は伝えるところによると、九歳にして仏門に入り、比叡山に上つて天台宗の教義を学び、その行道を修められました。比叡山における学習と修道の内容がどんなものであったのか、くわしいことはわかりませんが、それがとてもきびしいものであつただるうことは十分に想像されます。しかしながら、親鸞聖人はまたこの比叡山における生活において、かたちばかりの学習と修道はしだいに積み

(信楽俊麿「真宗入門」より引用)

とすん

一ツヨーネグレット(若院は、プラス納

が過ぎた一十九歳の年を迎えると、心を決してがつてまた、心安らかな救いの体験を持つこと

ができないままに、さまざまに悩まれたようですが、歩き、また仏さまにも祈られました。そしてついに、比叡山に上つてからちょうど二十年が過ぎた二十九歳の年を迎えると、心を決してがつてまた、心安らかな救いの体験を持つこと

ができないままに、さまざまなに悩まれたようですが、歩き、また仏さまにも祈られました。そしてついに、比叡山に上つてからちょうど二十年が過ぎた二十九歳の年を迎えると、心を決してがつてまた、心安らかな救いの体験を持つこと

ができないままに、さまざまなに悩まれたようですが、歩き、また仏さまにも祈られました。そしてついに、比叡山に上つてからちょうど二十年が過ぎた二十九歳の年を迎えると、心を決してがつてまた、心安らかな救いの体験を持つこと

豆)——私は、決して認知症ではないと言いたいわけではありません。それどころか、認知症の前段階にはすでに足を踏み入れていて、ためにここに来たか忘れることもたびたびです。なぜならば、毎日同じメニューだから(笑)

とすん

正確に答えることができます。「味噌汁、海苔おにぎり、トマト、フル

とすん

する」といふことだなあと感

じる今日この頃です。

(文責 坊守)